

2025 年度 一般選抜（A 日程）試験【音楽理論】

1. 例にならって、次の (1) ～ (5) の音の上方と下方に、指示された音程になるように黒音符を書き入れなさい。

例. 完全 5 度 (1) 長 3 度 (2) 増 6 度 (3) 減 8 度 (4) 短 7 度 (5) 重増 4 度

上方

下方

2. 次の (1) ～ (5) の和音の種類を答えなさい。

(1) (2) (3) (4) (5)

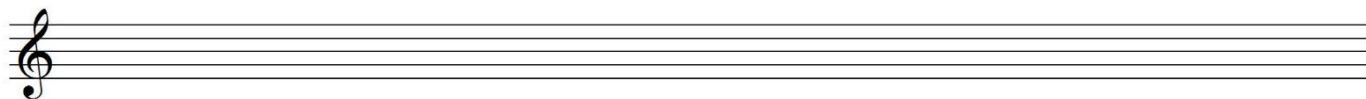
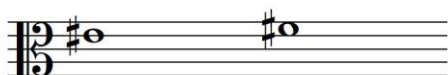
() () () () ()

3. 次の (1) ～ (5) はアーティキュレーションに関わる楽語です。日本語で意味を書きなさい。

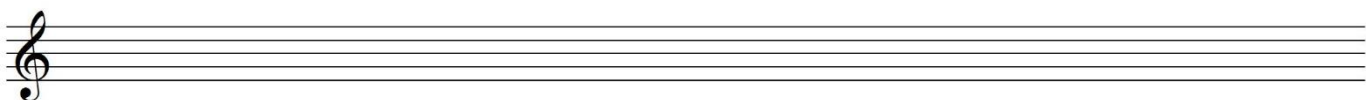
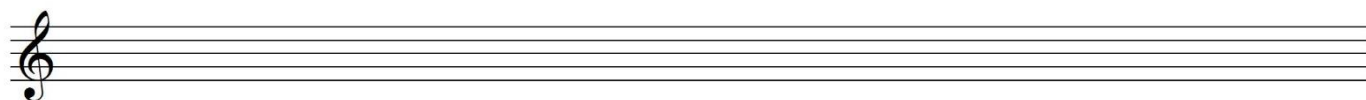
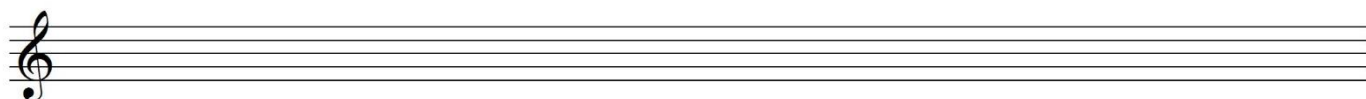
- (1) slur ()
- (2) sostenuto ()
- (3) tutta la forza ()
- (4) martellato ()
- (5) staccatissimo ()

4. 次の (1)、(2) の問いに答えなさい。

(1) 次の譜表にある 2 音をともに含む調号 5 つ以内の短調の音階の同主調を、与えられた譜表に調号を用いず、臨時記号で記しなさい。ただし、短調は旋律短音階の上行形とする。



(2) 次の譜表にある 2 音をともに含む調号 5 つ以内の音階は 3 つあります。与えられた譜表に調号を用いて記しなさい。ただし、短調は旋律短音階上行形とする。



5. 以下の譜例は、L.v.Beethoven のピアノ・ソナタ No.2, Op.2-2 第 1 楽章からの抜粋である。

A の部分は G dur であるが、B と C の部分の調性を判断し、解答欄にドイツ語で記しなさい。

A (G dur) B () C ()

A B C

Allegro vivace